



CONCORSO D'ELEGANZA KYOTO 2019

プレスリリース

2019年4月17日-京都

これまでの開催で大成功を収めた「コンcorso デレガンツァ 京都」にて 勝者に栄冠が授けられました

【Best of Show (最優秀賞)】 1965年ランボルギーニ 350 GT ザガート

【特別賞】

Best Lamborghini : 1971年 ミウラ SV

Best Zagato : 1965年ランボルギーニ 350 GT ザガート

Best Alfa Romeo : 1931年アルファロメオ 6C 1750 GS ザガート

Elegant closed : 1966年ランチア・フラミア・スーパースポーツザガート

Elegant open : 1942年 アルファロメオ 6C 2500 S

CHAPAL Desirable to drive : 1976年ランボルギーニ・カウンタック LP400

第三回コンcorso デレガンツァ 京都は、世界的に有名な自動車コンクールの世界観や雰囲気を受け継ぎ、2016年、2018年に続きユネスコ世界文化遺産の代表格・元離宮二条城の城内で4月13日及び14日の2日間開催されました。

アジアで最も重要なコンcorsoとなる第三回コンcorso デレガンツァ 京都は、FIVA（国際クラシックカー連盟）の正式承認を受けました。

木村英智は、コンcorso デレガンツァ 京都の創業者兼総合プロデューサーであり、京都国際観光大使を務め、更に世界的に有名なアートアクアリウムアーティスト、情熱的なクラシックカーコレクターであり、愛好家でもあります。

コンcorso デレガンツァ 京都のチェアマンは、The Key マガジンによる世界トップ100の自動車コレクターランキングで24位にランクインされた世界的に有名なコレクターであるコラッド・ロプレスト氏でした。ロプレスト氏が、審査委員会のメンバー及びコンcorsoに出展する伝説的な54台の車両を選定し、ヨーロッパ、アメリカ、中国、そして日本から集結したコレクターの独特な構成を組立てました。

400年以上の歴史を持ち、1994年にユネスコ世界遺産に登録された元離宮二条城（二の丸御殿中庭、台所前庭、台所を含む）は本イベントにとって最高の舞台であり、この季節にのみ見られる絵のように美しい満開の桜で彩られ、一般非公開エリアでの開催は非常に特別なものとなりました。



CONCORSO D'ELEGANZA KYOTO 2019

二条城内には、カルロ・フェリーチェ・トロッシ伯爵とマリオ・レヴェッリ・ディ・ビューモンツ伯爵のデッサンやスケッチを含む「伯爵の描いた未来の車デザイン画展」が開催されました。展示作品は「ロブレスト・コレクション・アーカイブ」から出展されました。マリオ・レヴェッリ・ディ・ビューモンツ伯爵は初代のフリーランスデザイナーであり、彼の長いキャリアにおいて何百台もの自動車、トラック、オートバイ、ヨット等が彼の素晴らしい才能から創り出されました。

カルロ・フェリーチェ・トロッシ伯爵は初代の紳士ドライバーの一人であり、1933年には彼の年代では最高のパイロットの一人となりました。また、彼はスクーデリア・フェラーリに迎えられ、6レースで優勝を飾り、スクーデリア・フェラーリの主要な投資家兼プレジデントとなりました。また、アルファロメオでのレースで大成功を収めました。航空パイロットとしての優れた才能にも恵まれ、更にテクノロジー&デザインの技術分野のパトロン兼スポンサーでもありました。

世界中の数多くのコンクールイベントで受賞し、一生に一度出会えるかどうかと言っても過言ではない名車中の名車である54台のエントリー車両が、9つのクラスに分けられました（750、コンテポラリー、GT、1963～1971年ランボルギーニ、1972～1985年ランボルギーニ、1986～2000年ランボルギーニ、モダン、レース&プロトタイプ、ヴィンテージ）。

ペブルビーチ コンコース デレガンス会長でもあるサンドラ・バトン女史が審査員長を務め、一流の世界的に高名な審査員全体を取りまとめました。世界最高基準に基づいて選定された審査委員会は以下の通りです：

パトリック・ロレ（フランス）FIVA（国際クラシックカー連盟）会長

ドミニク・フィシュリン（スイス）FIVA 役員／コンコルソ デレガンツァ ヴィラデステ出品選考委員 兼 コンサルタント

ロレンツィオ・ラマツィオッティ（イタリア）カーデザイナー／コンコルソ デレガンツァ ヴィラデステ 審査委員長

アントニオ・ギーニ（イタリア）クラシックカートラスト出版 “The Key” マガジンディレクター / 主要グローバル企業広報コンサルタント

ピーター・リード（イギリス）ロイヤルオートモービル役員

クリスチャン・フィリップセン（ベルギー）ペブルビーチ コンコース デレガンス 名誉審査員／国際審査委員長顧問グループ（ICJAG）創設メンバー

ラウル・サン・ジョルジ（ベルギー）ペブルビーチ コンコース デレガンス審査員

ニコラス・ワラー（イギリス）ペブルビーチ コンコースデレガンス ヨーロッパ マーケティング ディレクター & 出品選考委員

ドナルド・オズボーン（アメリカ）米国鑑定士協会メンバー／自動車鑑定サービス会社 “ドナルドWオズボーン社” 代表

中村 史郎（日本）カーデザイナー／ペブルビーチ コンコース デレガンス 名誉審査



CONCORSO D'ELEGANZA KYOTO 2019

54 台の車両は上記の卓越した国際審査委員会により、信頼性、優雅さ、レストア（修復）の質へのこだわり又はレストアされていない車両の保存状態、機能性、全体的な印象、そして可能な限り文書化された車両の歴史を主な判断要因として、厳正に審査されました。

コンcorso デレガンツァ 京都 2019 の「**Best of Show (最優秀賞)**」は、国際審査委員会の満場一致でランボルギーニ 350 GT ザガートに贈られました。アメリカの著名なコレクターであるウィリアム・ポープ氏が所有する、エルコーレ・スパーダがデザインした車両は、「Best of Show」にノミネートされるためにクラス（レース&プロトタイプ）で1位を獲得する必要がありました。その車両の希少性に加え、申し分ない素晴らしいコンディションにより「Best of Show」を獲得し、また本イベントではミラノに拠点を置くカロッツェリア・ザガートの100周年記念を祝していたこともあり、「**Best Zagato**」トロフィーも同時に獲得しました。

「**Best Lamborghini**」トロフィーは、日本人コレクターが所有するマスタードイエローのインテリアを施したヴェルデミウラカラーの1971年 ミウラ SV に贈られました。「**CHAPAL Desirable to drive**」にはサンタアガタ・ボロネーゼからもう1台、日本人オーナーが所有する黒色のインテリアを施したオレンジ色の1976年ランボルギーニ・カウンタック LP400 に贈られました。

ルクセンブルクから出展された赤色の1930年アルファロメオ 6C 1750 GS ザガートが「**People Choice**」トロフィーを獲得し、またベルギーから出展された1931年アルファロメオ 6C 1750 GS ザガートが「**Best Alfa Romeo**」及び「**FIVA**」賞を受賞しました。「**Elegant Closed**」トロフィーは、日本人コレクターのシルバー色の1966年ランチア・フラミア・スーパースポーツザガートに贈られました。「**Elegant Open**」トロフィーは、ベルギーから出展された青色の1942年アルファロメオ 6C 2500 S に贈られました。

サンドラ・バトン審査員長からの講評:

BEST OF SHOW 2019 を受賞した「1965年ランボルギーニ 350 GT ザガート」は、初代ランボルギーニとザガートボディを組み合わせた非常に素晴らしい車両です。また、この車両はランボルギーニとザガートの2社がコラボレーションした多くの車両の中でも初代のものでした。

本年のコンcorsoデレガンツァ京都は、ランボルギーニとザガート両社の特別企画となっているため、この車両がベスト・オブ・ショーに相応しいと思います。

世界遺産である元離宮二条城で開催された「コンcorso デレガンツァ 京都」は、日本の遺産と素晴らしいオートモビルに焦点を当てたパーフェクトな組み合わせです。また、世界中から熟練した審査員が集まり、優れた車両を審査しました。素晴らしいイベントとなりました。

コンcorso デレガンツァ 京都 2019 の成功に貢献したパートナーの紹介

Zagato (ザガート)

ザガート社は有名なミラノのコーチビルダーであり、今日まで独立し、創業一族によって経営されており、1919年以来コレクションを作り続けています。100周年記念の一環として、30台以上ものザガート車両がコンcorsoに参加しました。今回の参加は、今年予定されている多くの企画の中で最初のものとなりました。



CONCORSO D'ELEGANZA KYOTO 2019

Lamborghini Polo Storico (ランボルギーニ・ポロストリコ)

2016年に発足したランボルギーニ・ポロストリコは、ランボルギーニ社の一部門であり、サンタアガタ・ボロネーゼの遺産保存に専念しています。その活動には、2001年までに製造された全てのランボルギーニ車両のレストア及び認証、更にクラシック・ランボルギーニ用スペアパーツの復元が含まれており、2018年単年で200種類以上の新コード番号が導入されました。ポロストリコより20台の車両がコンコルソに参加しました。

FIVA

「国際クラシックカー連盟」は、様々な国のクラシックカー愛好家の興味を象徴する少数団体を組織化するため、1966年に設立されました。創設者は、国際的な組織が世界中でクラシックカーのトレンドを奨励し、興味を湧かせる時代が到来したと感じていました。現在、FIVAは世界62ヵ国以上に85以上の会員組織を誇り、同様に150万人以上ものクラシックカー愛好家を代表しています。

CHOPARD (ショパール)

スイスの高級ジュエリー及び時計メーカーであるショパールは、ルイ・ユリス・ショパールによってスイス・ソンヴィリエにて1860年に設立されました。コンコルソでは、ザガートとのコラボレーションによりデザインされた100周年記念特別ウォッチを発表しました。

ACI

オートモービルクラブイタリアは自己資金によるイタリアの特殊法人です。自動車セクターの振興及び規制を目的に、また国内における自動車所有者の興味を象徴するために1905年に設立されました。ACIクラブ・ストリコはACIの一部門であり、イタリア製自動車の遺産を保存するためのものです。

CHAPAL (シャパル)

1832年創業のシャパルは高級既製服及び革製品のメーカーです。今日、六代目の現社長であるジーン・フランソワ・バルディノン氏は、その歴史において会社を新たな章へと導いています。バルディノン氏は、シャパルならではの時代を超越した独特のスタイルを生み出しています。コレクションはメーカーの価値を高め、またその遺産、大胆さ、追求した完璧さを通して感動を与えています。バルディノン氏は自動車に対する情熱に触発されており、とりわけヴィンテージカーのコレクターや愛好家を魅了しています。

コンコルソ終了後、15台のクラシックカーが、地方で最も魅力的な観光地を巡り3日間ドライブするツールデレガンツァに向けて出発しました。二条城から出発し、瀬戸大橋を渡って美しい見どころと伝統的な神社を訪れるため、四国に向かいました。その訪れた多くが世界遺産に登録されています。

木村英智及び運営チームは既にコンコルソ デレガンツァ 京都 2020の準備を開始しております。



CONCORSO D'ELEGANZA KYOTO 2019

写真のダウンロード元:

Dropbox www.dropbox.com

E-mail: augusta.gay@concorsodeleganzakyoto.com

Password: Kyoto2019

写真提供者: Jacopo Salvi, Yusuke Kobayashi

Website: www.concorsodeleganzakyoto.com

E-mail: info@concorsodeleganzakyoto.com

Instagram: [instagram.com/concorsodeleganza_kyoto](https://www.instagram.com/concorsodeleganza_kyoto)

Facebook: www.concorsodeleganzakyoto.com